

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

コモロ連合月報(2016年3・4月)

主な出来事

【3月】

- イキリル大統領のマダガスカル訪問,「アンタナナリボ宣言」の発出(1日)
- 大統領予備選・各島知事選挙第1回投票最終結果の発表(5日)

【4月】

- 大統領選挙・各島知事選挙第2回投票の実施(10日)
- CENIによる暫定結果の発表(15日)
- 憲法裁判所による裁定結果の発表,一部再投票の決定(30日)

3月

【内政】

- 大統領選挙・各島知事選挙に係る申立て

(2月24日に独立国家選挙委員会(CENI)により発表された暫定結果に関し,)島知事選挙は2月29日,大統領選挙は3月1日に,それぞれの第1回投票に関する憲法裁判所への申立てが締め切られた。最終的に,大統領選挙関連で5件,各島知事選挙関連で4件の計9件が提出された。(1,3日付 AI-Watwan)

- 大統領選挙・各島知事選挙:国連, AUによる声明の発出

コモロの現状について,国際機関がそれぞれの見方を示している。2月29日にニューヨークにて発出された国連事務総長声明では,2月21日の予備選挙暫定結果に係る論争を受けて,コモロ国内情勢の「進展に懸念を抱く」とし,「全ての政党が武力に訴えることのないよう」呼びかけた。一方,26日, AUは,「2月21日の大統領予備選挙,各島知事選挙第1回投票が大過なく実施されたことを歓迎する」との声明を発出した。(1日付 AI-Watwan)

- 各島知事選挙:暫定結果を巡る批判

独立各島選挙委員会(CEII)の公表した暫定結果について,選挙監視団や各候補者は,投票率10.4%となっていると指摘している。アブドゥ・イスマエルCEII委員長は,もし事実と誤認があれば内務省が指摘していたであろうし,憲法裁判所が説明を求めていたであろうとして「この点に関してはどの選挙実施機関からも指摘を受けていない」と述べた。(4日付 AI-Watwan)

- 大統領選挙・各島知事選挙:暫定結果を不服とする政治集会

5日,独立国家選挙委員会(CENI)の発表した暫定結果を不服とする候補者等により「再集計が行われなければ,第2回投票は実施されない」との横断幕が掲げられる中,これら20名候補者により大規模な抗議集会が開かれた。(集会に参加した)アザリ・アスマニ候補は,憲法裁判所が法を遵守することを願うと述べた。(4,7日付 AI-Watwan)

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

●大統領選挙・各島知事選挙：憲法裁判所による最終結果

5日、憲法裁判所は2月21日に実施された大統領予備選挙・各島知事選挙第1回投票の最終結果を発表した。大統領本選に残る3候補者及びその順位は暫定結果から変更はなく、モハメド・アリ・ソイリヒ、アザリ・アスマニ、ムイニ・バラカ各候補となった。全25立候補者のうち、保証金5百万コモロフラン（約1万ユーロ）を回収できるのは4候補のみとなった。（注：保証金金額は誤り。選挙法によれば、島知事選挙各候補は立候補の際3百万コモロフランを支払い、有効投票数の10%を獲得すれば返金される。）（7日付 AI-Watwan）

●大統領選挙：サンビ前大統領の反応

大統領予備選挙の最終結果に関し、サンビ前大統領は本選において3候補いずれとも同盟を結ぶことはないと述べる一方、憲法裁判所の発表した結果は認められないと述べ、再集計を求めている20候補の主張を支持する旨表明した。（14日付 AI-Watwan）

●3月15日合意への批判

15日、大統領本選、各島知事選挙第2回投票に残る各候補者間で、選挙法及び関連規則に則った平和裡な選挙実施に関する合意文書が結ばれた。これに対し、17日、ファミ・サイード・イブラハム（注：JUWA党の大統領候補。予備選挙第4位で落選。）はこれを批判し、「予備選挙で明らかな不正があったにも関わらず、透明性のある本選挙が行われる事など不可能である」として、予備選挙結果の再集計とグランドコモロ島知事選挙の無効を訴えた。（16日大統領府HP、18日付 AI-Watwan）

●選挙キャンペーンの開始

17日、イキリル大統領は大統領本選、各島知事選挙第2回投票の選挙キャンペーンの開始を宣言するとともに、大統領予備選挙時の全候補者と面会した事を明らかにした。（18日付 AI-Watwan）

●反シーア派運動のソイリヒ候補支持

スンニ派の教義の保護を望む反シーア派運動は、大統領本選においてモハメド・アリ・ソイリヒ候補を、グランドコモロ島知事選挙ではアビー・ムッサ候補を支持する事を決定した。（注：いずれも与党UPDC候補）モハメド・アリ・ソイリヒ候補は、コモロ国内からシーア派を廃絶するとの同団体の活動への支援を受け入れたと見られる。（21日付 AI-Watwan）

●JUWA党内の混乱

サンビ前大統領は、大統領選におけるモハメド・アリ・ソイリヒ候補、アンジュアン島知事選挙におけるアニッシン・チャムシディン候補（注：いずれも与党UPDC候補）を支持するとの噂を是認した。一方、これまで党内の融和は辛うじて保たれてきたものの、（予備選での）敗北により不和が生じているようである。（29日付 AI-Watwan）

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

【外政】

●イキリル大統領のマダガスカル訪問

イキリル大統領は2月29日より3日間の日程で、20名のコモロ経済関係者と共に任期中初のマダガスカル公式訪問を行った。1日に行われたラジャオナリマンピアニナ・マダガスカル大統領との会談においては、経済、天然資源の違法取引、仏語圏諸国首脳会合に関し協議が行われたほか、両国間の協力内容拡充のため、1987年締結の二国間協力協定改定を目的とした委員会を設置し、今後協議を行っていくなど11項目を盛り込んだ「アンタナナリボ宣言」が発出された。同滞在中、両国の経済関係者による経済フォーラムも開催された。(1, 2, 3, 4日付 AI-Watwan)

●イキリル大統領の「北の雷」軍事演習終了式典への出席

9日、「北の雷」軍事演習終了式典への出席のため、イキリル大統領はサウジを訪問した。サウジのイニシアティブにて、シリアで展開された18日間の同軍事演習へは、エジプト、ヨルダン、パキスタン、ア首連、スーダン及びイエメンから15万人以上の兵士が参加した。(11日付 AI-Watwan)

●クウェート国民議会議員のイキリル大統領表敬

18日より3日間の日程で、クウェート国民議会議員5名等からなる代表団がコモロを訪問している。同代表団は19日、イキリル大統領を表敬訪問し、クウェート議会を代表して「北の雷」連合へのコモロ政府の協力を歓迎した。イキリル大統領は同代表団の来訪を歓迎するとともに、コモロ政府代表団が近くクウェート訪問を予定していると述べた。(19日大統領府HP, 21日付 AI-Watwan)

【経済・経済協力】

●公務員管理制度改革のための作業部会開催

8, 9日の2日間、モハメド・エルハド・アッバス法務・公務員・行政改革・人権・イスラム問題大臣後援の下、経済グッドガバナンス支援計画(ABGE)は公務員管理改革戦略の策定に向けた作業部会を開催した。同部会国家法律顧問は、関連法の不明瞭な部分を排除し、現状に則した法案を作成することが必要であると指摘した。(9日付 AI-Watwan)

●国内財政制度の問題に関するイキリル大統領への公開文書の送付

8日、コモロ銀行関係者及び駐コモロ外交団は、国内の銀行管理と財政制度に係る問題提起のための公開書簡をイキリル大統領宛に送付した。ミシェル・プーア駐コモロIMF代表によれば、コモロ国内の銀行が抱える問題は、法制度の多くの欠陥を逆手に取った少数の債務者が引き起こしており、80%に上る未処理債権がこれら債務者によるものである。銀行側は国内法制度の改革を求めている。ロビー・ジュード駐コモロ仏大使は、(外交団等)財政パートナーは今後、国内の財政制度一般、及び銀行制度の問題に関する正式な書簡を発出したいとしている。(9日付 AI-Watwan)

●日本の支援による公立小学校増設計画引渡式の実施

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

13日、日本の支援で実施された「グランドコモロ島クーア・ミツアミフリー村公立小学校教室増設計画」の引渡式が開催された。式典に出席した日本大使館の小川大輔書記官は、本計画は教室の増設により、同校の生徒収容数を向上させるとともに、教育環境の向上を目的としたものであると述べた。
(15日付 AI-Watwan)

4月

【内政】

●選挙監視団のコモロ入り

3月29日、Institut Goree(本部セネガル)の選挙監視団がモロニに到着した。368名の監視メンバーと50名の指導員が投票日当日各島に展開し、2日から6日にかけては研修が実施される予定。(1日付 AI-watwan)

●大統領選挙：CRC－JUWA 連合

3月2日以降、アザリ・アスマニ候補(CRC)はアメド・アブダラ・サンビ JUWA 党党首(元大統領)と共にアンジュアン島での選挙キャンペーンを展開しており、同2党は連合を組むこととなった。サンビ元大統領は、コモロ国民は1999年から2006年(アザリ政権)、2006年から2011年(サンビ政権)と比べ、ここ5年間で如何に貧しくなったかを知っている、と述べた。(5日付 AI-watwan)

●大統領選挙：UPDC－MSPC 連合

5日、コモロ国民奮起のための運動(MSPC;在外コモロ人により結成された団体)は会見を開き、モハメド・アリ・ソイリヒ候補(UPDC)は対外債務を解消すると公言しており、これにより海外投資家との関係再開が見込まれるとして、UPDCを支持することを発表した。(6日付 AI-watwan)

●大統領選挙：CRC－JUWA 連合

ファミ・サイド・イブラヒム(注：予備選で4位となり落選した JUWA 党の候補)は、未だ予備選での再集計を求めている支持者等に対し、アザリ・アスマニ候補への支持を呼びかけている。JUWA 党がアザリ候補を支援する理由として、同氏は「予備選で不正を行った者に対する支援はしないと以前より公言している」と述べた。(8日付 AI-watwan)

●大統領本選・島知事選挙第二回投票の実施

10日、大統領本選、各島知事選挙第二回投票が実施された。予備選では特に集計の際における不正が指摘されていた。今回の投票での変化として、投・開票所、投票用紙の移送、GENI の集計まで全ての段階に各候補者の代表が立ち会うこととなった。(11日付 AI-watwan)

●グランドコモロ島知事選挙

12日、独立各島選挙委員会(CEII)の暫定結果公表直後、ハマダ・ムッサ候補(与党 UPDC)は自身

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

の敗北を認めた。ハッサニ・ハマディ(独立系)が62.17%を獲得し当選した。(13日, 18日付 AI-watwan)

●アンジュアン島における選挙違反

12日, UPDC は記者会見を開き, アンジュアン島での選挙違反行為について「アンジュアン島議会議長, 及びアザリ候補が副大統領に指名している同島候補者が18投票所を的を絞りに行った」として批判した。(13日付 AI-watwan)

●大統領選挙: 暫定結果公表

15日, CENI は10日に行われた大統領本選の暫定結果を公表し, アザリ・アスマニ候補が40.98%を獲得し選出された。モハメド・アリ・ソイリヒ候補は同公表の直後に記者会見を開き, アンジュアン島400投票所の内23か所の票は集計に入れられておらず, 公表された結果は全体の集計結果とは言えない, として結果を認めない姿勢を表明した。(16日付 AI-watwan)

●大統領選挙: 国連事務総長声明の発出

15日, 「コモロにおいて平和裡に選挙が実施されたことを歓迎すると共に, 選挙関係者に対し, 同選挙を巡る如何なる問題も民主主義の精神に則って解決するよう呼びかける」内容の国連事務総長声明が発出された。(18日付 AI-watwan)

●アンジュアン島における再投票を巡る議論

アンジュアン島一部投票所での再投票要請につき, UPDC 党内で意見が割れている。モロニのUPDC 党本部では既に憲法裁判所へ再投票への訴えが提出されているのに対し, UPDC 党のアニッシ・チャムシディン・アンジュアン島知事候補及びUPDC 同島事務所メンバーは, 同党候補は第二回投票で当選しており, 再投票は求めないとしている。(19日付 AI-watwan)

●選挙暫定結果: 内務大臣の会見

CENI による暫定結果発表から3日後の18日, アッバス・モハメド・エルハド内務大臣は会見を開き, 法を尊重し, 結果を不服とする候補者は憲法裁判所へ訴えるよう呼びかけた。(19日付 AI-watwan)

●憲法裁判所への不服申し立て

20日, 憲法裁判所への不服申し立てが締め切られ, 多数の申請が提出されたと見られる。モヘリ島及びグランドコモロ島における暫定結果1位の候補以外は全員が提出した模様。(22日付 AI-watwan)

●メンケリオスUNOAU代表のコモロ訪問

国連事務総長特使として22日よりコモロ訪問中のハイレ・メンケリオス国連AU事務所(UNOAU)代表は, 23日, エルハド・アッバス内務大臣と会談を行った。同代表によれば, 「選挙期間における国内

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

治安につき協議を行い、大臣からは問題は無かったとの報告があった」。また、(アンジュアン島の一部投票所での)再投票については、「大統領の求めに基づき」資金支援を行う用意がある」と述べた。(26日付 AI-Watwan, Gazette des Comores)

●大統領本選:アザリ候補会見

25日、暫定結果で1位となったアザリ・アスマニ候補は記者会見を開き、平穩の維持が自身の至上命題であり、4月30日に最終結果が発表されるまで平靜が保たれることを望むと述べた。モハメド・アリ・ソイリヒ候補の主張している一部再投票については、憲法は第3回投票を想定しておらず、何ら法的根拠も持たないとした。(26日付 AI-Watwan)

●アンジュアン島知事選挙第2回投票に関する CENI 発表

26日、CENI は記者会見を開き、アンジュアン島での第二回投票実施につき総括し、アニッシ・チャムシディン候補(UPDC)が選出された同島の第二回投票結果を有効とする旨発表した。アンジュアン島における第二回投票では、選挙資材の強奪等選挙違反行為が発生したが、同記者会見においてアメッド CENI 会長は「立会人により選挙資材が強奪されるなどの事態が生じたものの、合意文書に基づき開票結果調書は同島選挙委員会へ送付された」と説明した。(27日 AI-Watwan)

●大統領本選・各島知事選挙第2回投票:憲法裁判所裁定の発表

30日、憲法裁判所は最終結果を発表し、モヘリ島知事はモハメド・サイード・ファズール氏が得票率63.30%にて、グランドコモロ島知事へはハッサニ・ハマディ氏が得票率62.12%にて当選した。大統領及びアンジュアン島知事に関しては、アンジュアン島内13投票所において15日以内に再投票が行われることが決定した。(30日独立国家選挙委員会 HP)

【外政】

●腐敗対策:セネガルへの評価

コモロとクロアチアは、セネガルにおける国連腐敗防止条約第3章(注:犯罪化と法執行)及び第4章(注:国際協力)の履行状況評価のため、3日より現地入りしている。4日間の審査日の内3日間は裁判所関係者、セネガル腐敗防止委員会(OFNAC)及び現地民間企業との協議に充てられる。(6日付 Gazette des Comores)

●コモロ・トルコ関係:技術協力

14日、第13回イスラム協力機構総会参加のためイスタンブールを訪問中のアブドゥルカリム外務大臣は、Yalcin Akdoganトルコ副首相と間でコモロ・トルコ間技術協力協定を締結した。5年間の協力を想定した同協定は、制度機能開発、国家戦略・統計組織・経済・社会分析開発を優先事項とし、教育、研修、科学研究活動、及び実習制度の拡大に係る知見の共有が見込まれる。(15日付 Gazette des Comores)

「コモロ連合月報」は、現地新聞報道を当館限りでまとめたものです。記事中の客観事実は、日本政府やコモロ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

● 「パリ協定」への署名

アブドゥルカリム・モハメド外務・協力大臣を団長とし、シティ・カシム環境大臣を含むコモロ代表団は、ニューヨークの国連本部で開かれた「パリ協定」署名式にて署名を行った。同署名式には175か国が参加した。(25日付 Al-Watwan)

【経済・経済協力】

● 資金洗浄及びテロ資金対策に係る会合

4日、東南部アフリカ市場共同体(COMESA)主催による資金洗浄及びテロ資金対策作業部会が開催された。サイード・ベン・ウセイン商業・経済大臣補佐は、コモロのようなインフォーマル経済に立脚し、貨幣取引が大部分を占めている国では特にこれら問題にさらされており、銀行口座普及率を上げることが重要であると述べた。(7日付 Gazette des Comores)

● 反コラス社の動き

仏系道路建設会社コラス社代表によれば、2015年以降、同社従業員が投石にあうなどコモロにおける同社の活動の安全性が脅かされている。これに対し、23日、イツァンドラ・ハマンビュの住民はコーラン朗読会において、これら野蛮な行為は即刻逮捕の対象とし、同社が平穩に国内での活動が行えるよう誓いを立てた。(注:同社を巡っては、グランドコモロ島西部のハンドゥリ採石場において、許可無く採石・輸出を行っているとして周辺住民との衝突が起こっている。)(7日付 Gazette des Comores)